

水田の 初期防除と施肥

4月の農作業

雑草図鑑 カタバミ・スギナ

4月の農作業

初期防除 共同防除の有無を問わず必ず散布を!

箱施用剤	農薬名	用量	使用方法
	ブイゲットアドマイヤー粒剤	1kg	<ul style="list-style-type: none"> 1箱当たり50g (10a当り約20枚) 田植2日前～当日までに箱苗全面に均一に散布する その後、葉に付いている農薬を払い落とし、軽く散水して移植する
			使用目的
			<ul style="list-style-type: none"> いもち病、うんか類、イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイの予防 効果は60日前後

除草剤	薬剤名		10a当り	使用時期	注意事項
	1回処理	パットフルエースLジャンボ	25g×10ヶ	田植後1～7日まで	田は均一に処理後3～4日間は5～6cmの深水管理
	トップガンGT1kg粒剤51	1kg	田植時～9日まで	田は均一に処理後3～4日間は5～6cmの深水管理	
2回処理	1回目	ショキニーフロアブル	500ml	田植時～田植後3日まで	代かき後、水深5cm位にして、ボトルを手振り散布
	2回目	マメットSM1kg粒剤	1kg	田植後20～30日まで	水深5cmで散布し、3～5日間は深水管理

基肥・中間追肥・穂肥

●コシヒカリ・標準型

基肥

肥料名	10a当り
有機アグレット666	35kg
苦土重焼燐	20kg

※キヌヒカリは有機アグレット666を40kg施用する

中間追肥

肥料名	10a当り	
ユーキPK	出穂45日前	40kg
PKカスタム		20kg

穂肥

肥料名	10a当り	
みのり有機	出穂18日前	20kg
	出穂10日前	10kg

※キヌヒカリは20日前

●コシヒカリ・省力型

基肥

肥料名	10a当り
有機入りエムコート282	40kg

※キヌヒカリは有機入りエムコート282を50kg施用する

- 袋の裏にかかれた基準を守ってください。
- 使用方法に不明な点がありましたら、JAハリマ営農販売課、各営業部経済課までお問い合わせください。

カタバミ

畑や庭、道端などで普通に見かける多年草で、畑の代表的な雑草となっている。成熟した種子は落下後の夏から秋にかけて発生し、生長して開花する株もある。春から夏にかけては幼苗が株から発生し、茎は根元から枝分かれして地面の上をはうようにして長さ10cm～30cmくらい伸び、地面に接するところで根を出して広がるために、繁殖力は強い。ハート形の葉は昼間は開いているが、夜間になると閉じる。春から秋にかけて長い花柄が伸び、その先に1cm程の黄色い花を1～8個付ける。花の後に先のとがったさや状の実を付ける。成熟すると実はじけ、1m近くまで飛ばされるものもある。

防除のポイント

種子から発生したものは、土壌処理型除草剤を散布する。一度繁茂してしまうと、根が地中深くに入り込むため、手で引き抜こうとしても抜けずに根元で切れてしまうので、種子ができる前に根まで枯らす移行性除草剤で防除する。



カタバミ



アカカタバミ



カタバミの花

スギナ

畑や日あたりのよい原野、荒地、田の畦など、いたるところに発生する繁殖力の強い多年生のシダ植物。杉の葉に似ていることからスギナ(杉菜)と名付けられた。繁殖は胞子と地下茎によって行われる。胞子は早春に出るツクシで作られ、淡い緑色の胞子穂から風によって遠くまで運ばれる。地下茎には、栄養茎(スギナ)と胞子茎(ツクシ)があり、地下でつながっている。まずツクシが出た後スギナが出てくる。スギナは高さが30cm～50cm。鮮緑色で茎は円柱形、縦に溝が入っており中は空洞になっている。上部にある節から針状の枝を輪生する。

防除のポイント

地下茎は引き抜こうとしてもすぐに切れ、切れたところから新しい芽を出す。一度定着してしまうと根絶するのは容易でないので、中耕などによって胞子の定着を防ぐことが大切。生育期には、浸透移行性除草剤を散布して防除する。



ハウス内に侵入したスギナ(栄養茎)



ツクシ(胞子茎)



スギナ(芽生え期)